

ポリグロッツ法人版導入事例

社員にもっと「生の英語」に触れる機会を提供したい！
グローバルに活躍する通信業社が採用した
低コストで始める継続的な英語学習とは



弊社代表山口, 担当講師Shin先生とご担当者様

法人版POLYGLOTSを導入いただいた通信業界A社様。

人材開発部の担当者がPOLYGLOTSユーザーだったことから導入が決まり、その後他部門にも展開をしていただきました。導入から3ヶ月が経過し、改めてご担当者様にインタビューを行いました。

➤ 導入時、社員様の英語学習にどのような課題がありましたか？

「英語をやるべき」という認識はあるものの、日々の業務もありますし何から始めて良いかわからない、英語学習の目的が理解できず目標を立てられていないという状況でした。

➤ なるほど、以前から会社として導入していた学習ツールなどはありましたか？

基本は自助努力でのスキルアップを求められています。
人材開発部では社員の皆様へ様々な学習ツールを紹介していますが、主にTOEIC得点UPのための教材でした。

➤ POLYGLOTSを選んでいただいたきっかけは？

他の教材とは違った「楽しみながら」「スキマ時間で」できるというのが一番のメリットでした。まずは英語に少しずつでも触れて、親しみを持ってもらえるようなツールを提供したいと思い、POLYGLOTSを使った部内サークルを立ち上げました。

➤ その後、他部門へのご紹介のため説明会を開いていただき、既に他の2部門様でも導入頂いていますね。

はい、社内でも英語力の高いグローバル系の部署でも導入を開始しました。
少ない費用でたくさんの「生の」英語コンテンツに触れることができ、スピーキングコンテンツの日常会話紹介も新しいと感じ興味を持ってくださる方がいたと思います。
また、導入説明会とレッスンなどのフォローアップも充実しているため、導入後の利用率も確保できると思いました。

➤ レッソンはどうでしたか？

英語に興味がある社員にとっては嬉しいコンテンツでレッスンもよく考えられた内容であったため、参加者の満足度は高かったです。
ただ、第三四半期の忙しい時期に導入してしまったので、レッスンの参加率が低かったことは課題です。



(※ 現在はレッスンはオンラインで開催)

➤ では最後に、今後についてはどうお考えですか？

個人的には今後も継続的に利用したいと思っています。
今回はまずは「社員の英語への意識を高めるためのツール紹介」が目的だったため、目標設定や費用は自己管理、自己負担という形で実施しました。
とはいえ、今後社員の英語学習をマストとしていくことを考えると、人材開発部としては個人の目標設定や利用率の管理もっと徹底していくことで、利用率の向上や英語学習の定着を図れると感じたので、その点は継続に際しての課題と感じています。

➤ 承知しました。法人版にはダッシュボードや社内ランキングなど管理者様向けに役立つ機能もご用意しています。目標も定期的に見直すことも必要だと思いますし、講師とともに目標設定などのフォローもさせていただきますので、ぜひ一緒に考えていきましょう。

貴重なお言葉ありがとうございました。

